

## 生徒による授業評価に対する

### 各教科、各学年における集計結果の分析と改善点等のまとめ

平成28年度

教科名・学年	集計結果の分析と改善点等のまとめ
国語	科会で各学年の様子や授業内容の情報共有を図り、教材や単元の精査・授業方法について検討する。課題や小テスト、提出物の評価を確実にを行い生徒にフィードバックする。また、単元ごとの復習プリントを配付し応用にもつなげられるようにする。
地歴・公民	前年度に引き続き、教科内での相互の授業見学を実施し意見交換をする。教材研究を更に深めて生徒が意欲的に取り組める授業をする。
数学	1学年では習熟度別の授業を行い、授業の進め方や課題の難易度を工夫している。2, 3年生は文理別や進路別の講座になっている。生徒の様子を見ながらやる気を高めるように工夫し、受験や普段の授業に生かしたい。
理科	授業全般にわたり意欲が低いように思われる。実験・実習をできる範囲で実施し、授業への積極的な姿勢を養わせたい。
保健体育	教員同士の切磋琢磨の中で研鑽を深め、生徒の学習意欲を育てる。生徒自ら考え行動ができ、より良い人間関係構築ができるよう手助けをする。
芸術	課題の与え方や授業の進め方をさらに工夫し、教師側の熱意が伝わるよう心がけたい。
英語	検定や外部模試を利用しながら、長期目標としての生徒につけたい力を教科内で明確にする。それに向けて教科内で進度や教材について意見交換をし、授業の改善に取り組む。また、引き続き課題や小テストを頻繁に課すことによりモチベーションを維持させる。やればできる事を多く体感させ、授業や家庭学習への取り組みに対する積極性を養う。
家庭	実習に対しての行動を積極的に促し、取り組みを早くできることにより興味関心を深め、納得のいく作品になるよう指導していく。
情報	情報化社会で生きていくために必要とされる、情報の知識、情報を活用する力、情報のモラルについて実践を通し学ぶことを主眼に授業展開している。2単位という限られた時間の中で、意欲的かつ内容の充実した取り組みが重要と考えている。 このような意図が、生徒に浸透しているかといった観点で集計結果を分析し今後の改善に繋げていきたい。
1 学年	授業への集中と、家庭での学習習慣の確立に努める。また、課題等の提出物の期限を守らせる。
2 学年	学力向上をめざして、授業内容や指導方法の改善・改良に努めたい。家庭学習時間を増加させるよう、指導していきたい。
3 学年	生徒の進路を実現するため、今後も授業内容の充実を図りたい。